

令和5年度 現代社会研究 シラバス

教科	公 民
科目 単位数	現代社会研究（2単位）
学年	3学年 選択
使用教科書	高等学校 改訂版 現代社会 第一学習社
副教材等	改訂版 現代社会ノート 第一学習社

1. 学習目標

人間の尊重と科学的な探究の精神に基づいて、広い視野に立って、現代の社会と人間についての理解を深めさせ、現代社会の基本的な問題について主体的に考え、公正に判断するとともに自ら人間としての在り方生き方について考える力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

2. 年間学習計画

学期	月	(備 大 単 元 章)	指 導 内 容	指 導 の ね ら い	配 当 時 間	
一 学 期	4 月 ～ 5 月	第1編 私たちの生きる社会 現代社会の学習では、私たちがこれからの人生において出会うであろうさまざまな出来事に対処して、幅広い視点から調べ、学ぶ方法を身につけ、自分の生き方を考える。				
		1. 地球環境問題	・様々な環境問題と人間の活動とのかかわりについて理解し、よりよい環境を次の世代に引き継ぐためにはどうしたらよいかを考える。			3
		2. 資源・エネルギー問題	・資源の有限性について理解を深め、石油に代わる資源には何があるか、資源を有効に利用するためにどのようにしなければならないかを考える。			1
		3. 科学技術の発達と生命倫理	・科学技術の発達が社会や生活をどのように変えてきたのか、また、科学技術の発達に伴う様々な問題について考える。			1
		4. 高度情報社会と私たちの生活	・高度情報社会とは何かを理解し、情報化の進展が社会に及ぼす影響について考える。			1
	6 月 ～ 7 月	第2編 現代の社会と人間としてのあり方生き方 現代社会を「社会生活」「経済」「政治」「国際社会における日本」という四つの角度から学習する。学習を進めながら自分ごのような現代社会をどう生き、どう参加していくのかを考えていく。				
		第2章 尊重と法の支配 個人の	①民主政治における個人と国家	・私たちと政治、政治と国家、国家成立の思想について理解する。		1
			②基本的人権と法の支配	・法の支配、基本的人権の保障、人権の国際的保障について理解する。		2
			③世界のおもな政治体制	・世界のおもな政治体制を理解し、真の民主政治の実現について考える。		1
		第3章 意義 現代の民主政治と政治参加の	①日本国憲法の基本原理	・日本国憲法と明治憲法との比較、日本国憲法の基本原理について理解する。		1
			②平和主義と安全保障	・恒久平和主知、戦争放棄、憲法と自衛隊、比較三原則、自衛隊をめぐる問題について理解する。		2
			③基本的人権の保障と新しい人権	・人権の保障、社会権、基本的人権を確保するための権利、法の下での平等、新しい人権、公共の福祉について理解する。		3
			④国民主権と議会制民主主義	・国民主権と議会制民主主義、国会の地位と権限、国会の運営と権限、衆議院の優越について理解する。		1
			⑤内閣と行政の民主化	・議院内閣制のしくみ、内閣総理大臣の権限、行政の民主化について理解する。		1
9 月 ～ 10 月		第4章 国際政治の動向と日本の役割	⑥裁判所と人権保障	・司法権の独立、最高裁判所の役割、裁判員制度について理解する。		2
	⑦地方自治と人権保障		・地方自治の組織と運営、地方自治の課題について理解する。		1	
	⑧世論形成と政治参加		・政党の役割、日本の政党政治、圧力団体、日本と世界の選挙制度、選挙制度の課題、世論と政治について理解する。また、主権者としての意識を高めさせる。		1	
	①国家主権と国際法		・国際社会の特徴、国際法の意義と役割について理解する。		1	
②国際連合の役割	・勢力均衡と集団安全保障体制、国連の成立と目的・役割、国連のかかえる課題、NGO・NPOの役割について理解する。		2			
③今日の国際社会	・第二次世界大戦後の国際社会と冷戦終結前後の国際社会の状況について理解する		1			
④核兵器の廃絶と国際平和	・核兵器・兵器の開発と拡散、軍縮と核兵器廃絶への道のりについて理解する。		1			
⑤地域紛争と人種・民族問題	・様々な人種と民族、おもな地域紛争、難民問題について理解する。		1			
⑥国境と領土問題	・国境線、国境と領土問題、日本の領土について理解する。		1			
⑦外交政策と日本の役割	・国際社会における一人ひとりの課題について理解する。		1			

学期	月	(偏・章) 大単元	指 導 内 容	指 導 の ね ら い	配 当 時 間
二 学 期	1 0 月	第5章 現代の経済社会と私たちの生活	①経済社会と経済体制	・経済の基本的なしくみと資本主義経済、社会主義経済の特徴を理解する。	1
			②経済主体と企業の活動	・企業の役割と社会的責任、株式会社、多国籍企業について理解する。	1
			③市場経済のしくみ	・市場のしくみ、競争と独占・寡占について理解する。	2
			④経済成長と景気変動	・国民所得や景気変動について理解する。	1
	1 1 月		⑤政府の経済的役割と租税の意義	・財政政策の意義、日本の財政の課題、租税について理解する。	1
			⑥金融機関のはたらき	・資金の流れ、金融機関の役割、日本銀行の役割と金融政策、金融の国際化・自由化について理解する。	2
			⑦戦後の日本経済の動き	・高度経済成長やバブル経済の要因など、戦後の日本経済のあゆみと日本経済の課題について考える。	2
			⑧産業構造の変化	・技術革新の進展と経済の発展、産業構造の高度化、経済のサービス化・ソフト化、中小企業の役割、農林水産業について理解する。	1
	1 2 月		⑨雇用と労働問題	・労働基本権と労働三法、雇用事情の変化、労働条件の改善と今後の課題について考える。	2
			⑩公害の防止と環境保全	・日本の公害問題、公害責任と環境権、公害防止と環境保全について理解する。	1
			⑪消費者保護と契約	・社会保障の意義、現代の社会保障の課題について理解する。	1
			⑫社会保障と国民福祉	・社会保障の意義、現代の社会保障の課題について理解する。	1
三 学 期	1 、 2 月	第6章 国際経済の動 向と日本の役 割	①国際経済のしくみと貿易の拡大	・貿易の意義、円高・円安のしくみ、経済のグローバル化について理解する。	2
			②進む経済統合	・地域的経済統合を図る動きがみられることを理解し、それによってもたらされるものを理解する。	1
			③国際経済の動向	・日本の貿易やアメリカ、アジアなどの貿易について理解し、貿易の拡大とそれに伴う貿易摩擦について、具体的事例をあげて考察する。	1
			④発展途上国の経済と南北問題	・南北問題、発展途上国の現状と課題について理解する。	1
			⑤国際協調と日本の役割	・国際協力のあり方、国際経済の中での日本での役割について考える。	1
	第7章 現代に生きる倫理	①豊かな人生を求めて	・哲学や宗教の役割を理解するとともに、人生を豊かに生きるとはどういうことなのかを多角的に考察する。	1	
		②日本の伝統的なものの考え方	・日本の伝統意識を理解し、生活の中での仏教や儒教、西洋思想の影響について、具体的事例をあげて考察する。	1	
		③近代の西洋思想	・人間の尊厳や科学的なものの考え方、民主的な社会を樹立するために必要な考え方の理解を深めさせる。	1	
		④現代に生きる人間の倫理	・平等な社会の実現には、偏見を取り除き、主体的に努力することが求められることを理解する。	1	
	3 月	ケ ー ス ス テ ィ	①税と社会	・「個人と社会の関係」、「社会と社会の関係」、「将来世代と現役世代の関係」について、税と社会、資源・エネルギー問題、世界の人口問題といった具体的なテーマから、私たちの未来を考える。	1
			②東日本大震災のエネルギー問題をめぐって		1
			③人口問題と私たちの未来		1

3. 評価について

- ア 年5回の定期考査では、ペーパーテストによって出題範囲における習得の状況を評価します。
- イ 課題探究学習の際に課すレポートや長期休暇などに課す課題レポートを評価のための資料とします。
- ウ 学習活動に取り組む態度や発表、討論などのようすを評価のための資料とします。
- エ 自己評価、振り返りシートを参考とします。

4. 評定について

評定は、上記の方法で得られた評価に関する情報を総合的に判断して行います。